

診療科研修コース

診療科研修名【産婦人科コース】

1. 診療科(専門領域)
産婦人科
2. コースの概要
外科系基礎プログラムと産婦人科プログラムを研修
3. 取得資格
3年を終了した者に、国立病院機構による診療認定医()
4. 長期目標
 - ・専門的知識及び専門的診療技術の修得
(救急医療(急性腹症等)、産科的疾患(異常妊娠分娩等)、婦人科的疾患(良性・悪性疾患等)、合併症管理)
 - ・手術療法・放射線療法・化学療法の計画・実施の修得
 - ・治療法の適応、効果、副作用、放射線障害、手術リスク等についての的確な説明の修得
 - ・術前・術中・術後の管理とリスクに対する適切な処置等の修得
 - ・各種学会等への発表、出席を通じて臨床研究の手法の修得
 - ・日本産婦人科学会専門医の申請・取得
5. 取得手技
 - ・検査の実施方法及び結果の解釈(ホルモン測定、超音波検査、細胞診、子宮鏡、腹腔鏡、骨盤計測など)
 - ・産婦人科救急患者への救急処置
 - ・適切な手術・執刀の修得(腹式子宮全摘術、附属器切除術、腫瘍摘出術、腹腔鏡手術等)
6. 研修期間
3年間
7. 募集人数
2名
8. 前年度診療科の実績と目標症例数

主要疾患	症例数(年間)	目標症例数(年間)
分娩	640	150
流産・早産	60	35
悪性腫瘍(子宮癌・卵巣癌・肉腫など)	35	20
子宮筋腫	30	15
卵巣腫瘍	55	15
子宮内膜症(不妊含む)	10	15
子宮脱	20	10
感染症	20	10

手術	件数(年間)	目標件数(3年間)
帝王切開術	80	30
広汎、準広汎子宮全摘術(リンパ節郭清)	15	10
腹式子宮全摘術	65	15
腹式筋腫摘出術	10	10
腹式付属器摘出術	85	10
腔式子宮全摘術	30	10
腹腔鏡下手術	10	20
レーザー手術	30	10
その他(子宮内容除去術含む)	1100	30

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 4名、非常勤 2名

診療科研修の指導にあたる医師 4名

主として研修指導にあたる医師の氏名

神田 隆善

〃

診療科経験年数

36

年

10. コンセプト

・産婦人科専門医として必要なより専門的知識及び専門的診療技術を修得し、産婦人科学会の専門医認定の取得を目指す

11. 一般目標

- ・専門的知識及び専門的診療技術の修得
(救急医療(急性腹症等)、産科的疾患(異常妊娠分娩等)、婦人科的疾患(良性・悪性疾患等)、合併症管理)
- ・手術療法・放射線療法・化学療法の計画・実施の修得
- ・治療法の適応、効果、副作用、放射線障害、手術リスク等についての的確な説明の修得
- ・術前・術中・術後の管理とリスクに対する適切な処置等の修得
- ・各種学会等への発表、出席を通じて臨床研究の手法の修得
- ・日本産婦人科学会専門医の申請・取得

12. 関連領域の研修に関して

施設内での研修

可能

不可

施設外との交流研修

可能

不可

研修領域の決定

本人の意向を研修責任者が聴取し、本人と相談して決定

13. 共通領域研修について

- ・医療安全管理研修会の開催(年4回)
- ・がん診療アップデート(地域がん診療拠点病院としての研修)(年2回)